

◆ 目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（2月20日～2月26日掲載分）
 - ・ 報道発表
 - ・ お知らせ
 - ・ 各種情報
 - ・ 各種手続き
- 2 現場リポート
 - ・ 海事産業の次代へ向けて!!
～九州海事産業次世代人材育成推進協議会を開催～
 - ・ 復活！特急485系 ～懐かしい車体と再会～
- 3 お知らせ
- 4 九州運輸局の動き
- 5 イベント情報

1 九州運輸局ホームページアップ情報

（2月20日～2月26日掲載分）

報道発表

- ◆台湾の教育旅行関係者を招請し、九州の教育旅行コースをPRします！

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press2014-0221-kokusai.pdf>

お知らせ

- ◆国土交通行政インターネットモニター募集

～皆様のご意見をお聴かせください～

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/2014-0226-kouhou.htm

各種情報

《九州のうんゆ》

- ◆九州のうんゆ（2月20日公表分追加）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/pdf/26_2-2.pdf

《入札・契約情報》

- ◆6. 物品・役務入札公示（2月26日公示分まで）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

《行政処分情報》

- ◆個別の事業者に対する行政処分等の状況はこちら

（一般乗合旅客 26年1月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/noriai/noriai25.htm>

- ◆個別の事業者に対する行政処分等の状況はこちら

（一般貸切旅客 26年1月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/kasikiri/kasikiri25.htm>

- ◆個別の事業者に対する行政処分等の状況はこちら

（一般乗用旅客 26年1月分追加）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/jyouyou/jyouyou25.htm>

- ◆個別の事業者に対する行政処分等の状況はこちら
(一般貨物 26年1月分追加)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kamotu25.htm>

- ◆個別の事業者に対する行政処分等の状況はこちら
(一般貨物(過積載) 26年1月分追加)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kasekisai25.htm>

----- 各種手続き -----

《海技試験制度・合格発表》

- ◆筆記試験の科目合格発表(平成25年度2月定期試験分)

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyomu/kaijoanzen/file05_01/kamoku_260225.pdf

- ◆口述試験の日程発表(平成25年度2月定期試験分)

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyomu/kaijoanzen/file05_01/nittei_260225.pdf

- ◆筆記試験の合格発表(平成25年度2月定期試験分)

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyomu/kaijoanzen/file05_01/goukaku_260225.pdf

《船員関係の各種手続》

- ◆船員関係の各種手続(新規コンテンツ追加)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/senin/body.htm>

2 現場レポート

- ◆海事産業の次代へ向けて!!
～九州海事産業次世代人材育成推進協議会を開催～

2月17日、九州運輸局において「第7回九州海事産業次世代人材育成推進協議会」を開催しました。

四面を海に囲まれた我が国では、海運業や造船・船用工業などの海事産業が極めて重要な役割を果たしています。しかしながら、海事産業界では少子高齢化社会の到来に伴う労働者の高齢化の進行が顕著であり、次代を担う人材の確保・育成が喫緊の課題となっています。

こうした状況を打破するため、同じ意識を共有する各海事産業関係団体及び教育機関がメンバーとなって、平成20年2月に「九州海事産業次世代人材育成推進協議会」が設置され、今回で7回目の開催となりました。

協議会には、海産業界関係団体の長など38名が参加し、平成25年度の活動報告や次年度の活動計画等についての確認を行いました。

冒頭の挨拶で九州運輸局久保田次長は、「海事産業は明るい兆しは見えているが、本格的な回復には至っておらず、高止まりしている燃料費の影響や人材不足等の課題を抱えている状況の中、海事産業の持続的な発展のために、各種取り組みに尽力いただいている」と、協議会メンバーに対する感謝の意を表しました。

また、昨年4月に閣議決定された新たな海洋基本計画に、『海洋に係わる人材の育成と技術力の強化』が重点的に推進すべき取り組みの一つとして盛り込まれていることにも触れ、「当協議会を軸として連携を深め、更なる取り組みの強化を図っていく」と述べました。

協議会メンバー等からの活動報告では、海事施設見学会や体験航海など、これまでに実施した活動や、新たな取り組みとして、小・中学校の先生を対象に海事施設見学会を行ったことなどが報告され、各委員からは、「活動実績をアピールするため、報道機関への働きかけを強化すべき」などの意見が出されました。

当協議会では、各委員から出された意見等を踏まえ、活動がさらにステップアップできるような体制作りを目指し、海の大切さや海事産業の果たす役割の広報活動を進め、海事国家日本を担う青少年の人材育成施策を推進して参ります。

※協議会の様子は下記URL からどうぞ。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_252_1.pdf

【九州海事産業次世代人材育成推進協議会（事務局：九州運輸局 海事振興部）】

◆復活！特急485系 ～懐かしい車体と再会～

2月1日、九州旅客鉄道（株）は、北九州市にある門司港駅舎の100周年と九州鉄道記念館の10周年記念企画として、特急485系の復活運行を行いました。

特急485系は、かつて「つばめ」「はと」「有明」「かもめ」「にちりん」などの名称で活躍した車体で、現在JR九州内では使用されていませんが、その独特なフォルムから、今でも鉄道ファンに高い人気を誇っています。

当日は、門司港駅ホームで出発式があった後、鹿児島本線を南下して八代駅まで約6時間かけて運行し、沿線でカメラを片手に雄姿を待ち侘びた鉄道ファンに、旧国鉄色の懐かしい車体を披露しました。

JR九州では、ほかにも門司港駅舎100周年に関連した様々なイベントを実施していますので、同社のホームページをチェックして、イベントに参加してみたいかがでしょうか？

※運行の様子は次のURLからご覧になれます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_252_2.pdf

【総務部 総務課】

3 お知らせ

◆国土交通行政インターネットモニター募集！

国土交通省は、皆さまから広くご意見をお聴きし、国土交通行政に反映させることを目的として『国土交通行政インターネットモニター』を募集します。

募集開始は3月1日からです。多くの皆様からのご応募をお待ちしています。

応募方法等、詳細は「国土交通行政インターネットモニターページ」からご確認ください。

URL : <https://www.monitor.mlit.go.jp/>

4 九州運輸局の動き

◆海技士国家試験（2月定期試験）（再掲）

日時：2月25日（火）～3月19日（水）（口述試験）

場所：九州運輸局 7階海技試験場

概要：船長や機関長など、「船舶職員」として船に乗り組むために必要な資格に関する国家試験を実施します。

担当：海上安全環境部 海技資格課

◆出前講座

日時：3月4日（火）

場所：長崎県長崎市 長崎鶴洋高等学校

概要：長崎鶴洋高校水産科の生徒38名に対し、進路ガイダンスとして海事産業の次世代人材育成を目的とした出前講座を実施します。

担当：海事振興部 貨物課・船員労政課

5 イベント情報

◆御船初市

日時：2月27日（木）～28日（金）

場所：熊本県上益城郡御船町 御船本町通り

概要：通りに植木・陶器類・瀬戸物などが並び、多くの人で賑わいます。

◆木原不動尊春季例大祭

日時：2月28日（金）

場所：熊本県熊本市 木原不動尊

概要：成田・目黒の不動尊と並ぶ日本三大不動尊の一つで、雨乞い伝説があり「水引き不動」とも呼ばれています。「火渡り」や「湯あび」、「湯立て」といった荒行が行われます。

◆第18回叙福ロマンロードウォーキング大会

日時：3月2日（日）

場所：鹿児島県いちき串木野市 冠岳花川砂防公園ほか

概要：冠岳花川砂防公園を出発点として、3・7・10キロメートルの3コースが準備されており、ファミリーでも無理なくウォーキングを楽しめます。

//////// 編集部より ///
寝不足に悩む日々から解放されました。

様々なドラマを展開し私達を楽しませてくれたソチオリンピック。

日本選手では10代の活躍が目立つ中で、最年長メダリスト誕生などベテランの活躍もあり、日本に8個のメダルを届けてくれました。

金メダルを獲得した男子フィギアの表彰式。妙にテンポの遅い「君が代」が若干気になりましたが、やはり「一番」高いところに日の丸が揚がるのは、気持ちいい！

特に印象に残ったのは、男子ジャンプで個人初のメダルを獲得した選手の晴れやかな笑顔と、団体にメダルを獲得した時の涙との対照。そして、女子フィギアで日本中の期待を背負って出場し、フリーの演技終了と同時に感涙した選手の表情。貰い泣きしてしまいました。

他にも色々ありましたが、全ての選手に心から「お疲れ様でした」と言ってあげたいですね。そして、感動をありがとう！！

さて、次の寝不足は6月かな？

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: mm-kyushu@gst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
